

綾瀬発・釜石応援プロジェクト



本会では、東日本大震災の被災地である岩手県釜石市を応援するため、平成23年度2回の「ボランティアバスパック」を実施。平成24年度「綾瀬発・釜石応援プロジェクト」を立ち上げ、平成25年度までに8回の支援を実施、今年度は2回の支援活動を実施してまいりました。

このプロジェクトは、社協の持つネットワークを生かし、賛同いただける市内の団体にお集まりいただき、企画から実施までを一緒に行うものです。

また、市内の事業所の皆様にも御協力をいただき、食材等の御提供をいただきました。

今年度の活動は、今までの青空給食、がれき等の撤去作業ではなく、現地の方々との交流を通して「私たちはあなた方のことを忘れていません」というメッセージを送り続けていくために、昨年も開催した天神町仮設団地における「第2回釜石&綾瀬夏の交流祭り」と震災後はじめて開催された、釜石市社会福祉協議会主催による「第22回釜石市ふれあいまつり」の協賛を行い、一緒にお祭りを盛り上げてきました。

プロジェクトメンバー（順不同・敬称略）

綾瀬青年会議所 綾瀬アカデミー 綾瀬市商工会青年部 ブタッコリ～推進委員会
あやせ災害ボランティアネットワーク 市民活動センターあやせ
(株)タウンニュース社綾瀬編集室

食材等提供（順不同・敬称略）

（第1期協力）

(株)高座豚手造りハム 秋本食品(株) エムケーチーズ(株) 綾瀬市地場農産物消費拡大推進協議会 東京キリンビバレッジサービス(株) 大和営業所(株) (株)ラテン大和
ファイアート神奈川(有) 青柳商店 ブタッコリ～推進委員会 国際ソロプチミストあやせ

（第2期）

綾瀬市地場農産物消費拡大推進協議会 (株)高座豚手造りハム 秋本食品(株)
エムケーチーズ(株)

協力機関（順不同・敬称略）

釜石市天神町仮設団地自治会・釜石市天神町仮設団地商店街・釜石市社会福祉協議会

第1期 平成26年7月25日(金)～27日(日)

参加者40名

第2回 釜石&綾瀬夏の交流祭り



第2回釜石&綾瀬
夏の交流祭り
～どなたでも参加できます～
2014年7月26日(土) 14:00～20:00
場所 釜石市天神町仮設団地内
14:00～フリーマーケットスタート!
16:00～ふれあい&交流のお祭りスタート!
釜石&綾瀬の串でBBQ 焼きそば 高座スイカ
花火 ポップコーン 綿菓子 ヨーヨーつり
DAN Live キッズダンス 一緒に踊ろうタイム etc
キッチンカー<<Happiece-Coffee>> <<ラタゴ>>さん参加!
Kamaishi & Ayase Summer Festival
July 26 (Sat) 14:00~20:00 at Tenjin Temporary Housing
Free Market & BBQ / Kamaishi Kids dance / Dan's Live etc
お問い合わせ先 綾瀬市社会福祉協議会 Tel.0467-77-8166
綾瀬市社会福祉協議会<綾瀬発・釜石応援プロジェクト>
釜石市社会福祉協議会 with 天神町仮設商店街・自活会
協力 Kamaishi Support Project がんばろう釜石 / Gambaro Kamaishi



今年の4月に全面復旧した三陸鉄道南リアス線を貸し切り、沿岸部の視察を行いました。

そして、昨年に行った天神町仮設団地での「第2回釜石市&綾瀬夏の交流祭り」を開催。24時間テレビにも出演したキッズダンス「いがあったんたら」のウェルカムダンス、バーベキュー、縁日、フリーマーケット、アーティストDANさんのライブ、花火など本当に楽しいひと時を過ごしました。

第2期 平成26年10月24日(金)～26日(日) 参加者28名
第22回釜石市ふれあいまつり



震災を期に中断していた「釜石市ふれあいまつり」の復活に立ち会うことが出来ました。綾瀬から提供したのは釜石で生まれたクリームシチューうどん。ブタッコリ～も応援に駆けつけ、地元のバンドとコラボし、会場を盛り上げました。また終了後は「青空講演会」も行われ、すでに解体された鶴住居防災センター跡地の慰霊堂に参加者で手を合わせました。

東日本大震災から3年半以上が経ちました。

綾瀬市社協では、震災直後に行ったボランティアバスパックを含め、今年度で12回の釜石訪問を行い、スタッフを含め述べ408名の方々に参加いただき、様々な支援活動を行ってきました。

釜石の街からはがれきが消え、道路が整備され、新しい家や商店、新しい大型ショッピングセンターが建ち、活気のあった街が蘇りつつあります。しかし、未だに仮設団地が65団地、2,670世帯、5,086人(11月末現在)の方々が、不自由な生活をされています。仮設団地の耐久年数は2年と言われていますが、すでに3年以上経っても復興公営住宅の建設が進まず、壊れた箇所を修繕しながら生活を続けている状態で、精神的な疲労も限界に達しているとみなさん口々に漏らしていました。

日々、東日本大震災という未曾有の災害があったことが忘れられつつあることを実感します。しかし、「私たちのことを忘れないでいてくれてありがとう」という現地の方の暖かい言葉が私たちの活動の背中を押します。

まだまだ出来ることがある。私たち「綾瀬発・釜石応援プロジェクト」はこれからも釜石市を応援していきたいと思えます。

綾瀬市社会福祉協議会

